



こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第401号

2019年3月18日

発行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

312-5

市庁舎整備費は140億円にも

市庁舎整備基本計画（案）によれば、事業費について概算事業費と示されていた当初の105億円から118億円に上昇、さらに立体駐車場を設置すれば、128億円になることが明らかにされました。

さらに、上下水道局整備費用、備品購入費、引っ越し費用などが含まれていないことから、これらの経費を含めると140億円にまで膨れ上がることは避けられません。

3月議会で、日本共産党が「140億円に膨れ上がるのでは」との質問に、市当局は否定しませんでした。

借金増により市民の暮らしを直撃

この計画をこのまま推進すれば、市民にとって二つの重大な問題が押しつけられることとなります。

その第1は、財政上の問題です。市は、「国からの補助金3億円、基金30億円を活用することで、市債の発行額を抑えるとともに、事業費の圧縮を考えていく」と説明していますが、現状では100億円を超える新たな市債の発行に追い込まれます。

今でも近隣市の習志野市、佐倉市よりも100億円から150億円を上回る借金を抱えているのに、さらに借金を増やせば、市民の暮らしを直撃するとともに市民サービスの低下を招くことは必至です。

学校・支所など、他の公共施設は放置される

第2に、市庁舎の建替えにより市庁舎だけは豪華な建物に変貌したが、市民が利用している、学校、支所や保育園、その他の公共施設が置き去りにされてしまうことです。今でも、雨漏りの天井、床が傷んでいても、「予算がない」と、放置されています。

しかも、市は、公共施設等総合管理計画で、公共施設を削減しなければ、今後建て替えなどにより「財政破綻」になると告白しているのです。

市民の貴重な税金が、「借金の返済」に追いまくられる事態は避けなければなりません。



市庁舎の在り方を決めるのは市民だ!!

日本共産党は、耐震補強による大規模改修で、市庁舎の整備を進めるべきと、鎌ヶ谷市などの事例を示して、議会の内外で訴えてきました。市当局も「既存庁舎の免震補強については、技術的に可能」としています。

同時に、国の、市庁舎整備の緊急防災・減災交付金の活用で、「耐震補強」であれば費用の70%は交付税で対応できるのです。

市庁舎整備のあり方を決めるのは市民です。これからでも十分間に合います。日本共産党は、みなさんとご一緒に全力で頑張ります。